

小田地区
防災まちづくり懇談会ニュース
第11号
令和4年9月発行

「防災まちづくり懇談会の全体会」を開催しました！

これまでに町内会別懇談会で出された様々なご意見について、4つの共通課題と2つの対応策に整理し、小田地区の各町内会の方々が一堂に会して共有し、改めてご意見を頂きました。

「防災まちづくり懇談会」

開催：令和4年7月16日（土曜日） 午後2時～午後3時30分
場所：田島中学校 特別活動室
出席者：小田1丁目町内会（1名）、小田中央町内会（3名）、小田3丁目町内会（3名）、小田4丁目町内会（1名）、小田五六町内会（3名）、浅田1・2丁目町内会（2名）、浅田3・4丁目町内会（1名）、小田栄町内会（2名）京町3丁目町内会（2名）計18名
内容：令和2年8月から令和4年6月までの町会別懇談会で出された4つの共通課題と2つの対応策に対する各町内会の意見の共有

① 経緯

令和元年度から実施していた防災まちづくり懇談会については、新型コロナウイルスの感染予防に鑑み、令和2年度から町内会別懇談会として実施してまいりました。これまで各町内会で出されたご意見について小田地区全体での共有が必要と考え、今回、全体会での懇談会を開催しました。

② 4つの課題についての共通意見

町内会別懇談会の中で、各町内会から多くのご意見を頂いた4つの共通課題について、各町内会で共通した意見を皆さんで確認しました。

4つの課題についての共通意見			
敷地の小割	ワンルームマンション	道路・公園	空家・防災空地・共同化・その他
更なる密集を防ぐために敷地の分割を制限してほしい。	ゴミ出し、駐輪のマネーが悪い。	道路の機能確保や拡幅の進め方を知りたい。	危険なブロック塀の倒壊が心配、空家がどうなるのか不安。



当日の様子

③ 2つの対応策についての共通意見

4つの課題の対応策の一例として、まちのルール（地区まちづくり構想・地区計画）について町内会別懇談会で説明を行った際に出た共通意見を皆さんで確認しました。

2つの対応策についての共通意見	
地区まちづくり構想	地区計画
ワンルームマンション事業者と町内会が、ゴミ置き場等について、事前協議を行うというルールがあるとよい。	敷地の小割を防ぐために、地区計画を定める時の決め方、範囲、実施する時期を知りたい。

④ 課題に対する解決の方向性

4つの課題（敷地の小割、ワンルームマンション、道路・公園、空家・防災空地・共同化・その他）を解決するためには、地域と市でそれぞれが様々な取り組みを行う必要があり、課題の解決に向けて地域と市でそれぞれ行うべきことを確認しました。

課題の解決に向けて行うべきこと	
地域で行うこと	市で行うこと
<ul style="list-style-type: none"> 地区まちづくり構想の策定に向けた検討 地域の課題や対応策の理解を深める 安全安心なまちづくりのため、空家や危険なブロック塀などの情報を市へ提供 	<ul style="list-style-type: none"> 地区計画の策定に向けて具体的な検討、調整 町内会以外の方に対して、まちのルールづくりや制度などの周知 支援制度の活用、防災上重要な道路の通行機能確保の検討

⑤ 地域と市で行うべきことについて出た主な意見

地区まちづくり構想の組織を作って進めることはいいことだ。きめ細かに慎重にやってほしい。

一緒になって共有、理解できたことは良かった。住んでいて困った感じがしていないと思うが、防災まちづくりをもっと地域の人々全体で共有するためにどうしたらよいかポイントだ。

具体的な防災まちづくりの計画をする部門とそれをみんなに広めるための運動体を作っていくことが求められていると思う。

ゴミ置き場の問題で町内会と業者で話し合ったことがあるが、現実には決まったことが守られていない。ルールを作ってどう守ってもらうかが課題。

⑥ 今後について

これまでの経過や今回の懇談会（全体会）を踏まえ、川崎市として更なる防災まちづくりの推進を図るために、「地区まちづくり構想」策定に向けた支援や「地区計画」の検討を具体的に進めていきます。